



商店街ブロック別通行量

6ブロック中5ブロックで
前年度を上回る

中心市街地を紺屋町(地点数6)、呉服町2丁目(地点数6)、呉服町1丁目(地点数3)、七間町(地点数6)、御幸町(地点数6)、伝馬町(地点数3)の6つのブロックに分けて通行量を前年度と比較すると、紺屋町・呉服町(1丁目・2丁目)・七間町・御幸町の5つのブロックで前年度の通行量を上回り、伝馬町ブロックのみ前年度の通行量を下回った。(表4)

商店街ブロック名	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	通行量(人)	平均(人)※	通行量(人)	平均(人)※	通行量(人)	平均(人)※
紺屋町(6地点)	54,624	9,104	49,780	8,297	43,120	7,187
呉服町2丁目(6地点)	54,070	9,012	51,627	8,605	50,600	8,433
呉服町1丁目(3地点)	10,663	3,554	9,351	3,117	8,937	2,979
七間町(6地点)	14,269	2,378	11,719	1,953	11,926	1,988
御幸町(6地点)	24,165	4,028	22,458	3,743	23,806	3,968
伝馬町(3地点)	7,243	2,414	9,182	3,061	7,519	2,506
合 計	165,034	5,501	154,117	5,137	145,908	4,864

※平均:各商店街ブロックにおける1地点当たりの通行量(紺屋町については地下街を除く)

交通拠点からの人の流れ

全方向(5方向)で通行量が増加

JR静岡駅北口からは、歩行者は地下道を利用して御幸町方面「松坂屋前中央地下道」へ51.8% (11,167人)、紺屋町方面「国道横断ななめ地下道」へ48.2% (10,403人)の人が流れた。

静岡鉄道新静岡駅からは、南口方面「新静岡セノバ前南口モール」へ77.4% (14,894人)、北口方面「ペガサート北街道側」へ16.0% (3,069人)、鷹匠方面「越後屋ビル前・薬科銘茶杉山園前」へ6.6% (1,266人)の人が流れた。

両交通拠点からの人の流れは、平成26年度以降ほぼ同様の結果であった。(表5)

交通拠点	通行方向	30年度 人数(比率)	29年度 人数(比率)	28年度 人数(比率)	27年度 人数(比率)	26年度 人数(比率)
JR静岡駅 北口 (計 21,570 人)	御幸町方面 「松坂屋前 中央地下道」	11,167人 (51.8%)	10,021人 (50.2%)	9,764人 (50.5%)	9,966人 (56.2%)	10,319人 (55.0%)
	紺屋町方面 「国道横断 ななめ地下道」	10,403人 (48.2%)	9,961人 (49.8%)	9,577人 (49.5%)	7,752人 (43.8%)	8,449人 (45.0%)
静岡鉄道 新静岡駅 (計 19,229 人)	南口方面 「新静岡セノバ 前南口モール」	14,894人 (77.4%)	14,084人 (78.6%)	11,285人 (73.7%)	11,928人 (74.6%)	12,841人 (76.3%)
	北口方面 「ペガサート 北街道側」	3,069人 (16.0%)	2,704人 (15.1%)	2,268人 (14.8%)	2,201人 (13.8%)	2,801人 (16.6%)
	鷹匠方面 「越後屋ビル前 ・薬科銘茶杉山園前」	1,266人 (6.6%)	1,133人 (6.3%)	1,756人 (11.5%)	1,851人 (11.6%)	1,186人 (7.0%)

静岡地域中心市街地主要地点通行量

